

NITO 漏電ブレーカ 取扱い説明書

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱い説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報として注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。

この取扱い説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

危険：取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。

注意：取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

1. 使用上の注意

危険

1) 2ヶ所の挿充電部に絶対に触らないようにしてください。感電時に動作しません。漏電遮断器は行き電流と帰りの電流との差が規定以上になった時に動作する仕組みとなっており、図の場合には漏電検出しません。

ブレーカ

モータ

2) 端子部に触れないでください。感電のおそれがあります。

注意

1) 電気機器のアース端子は必ず接地してください。

2) 自動的に遮断した場合は、原因を取り除いてからハンドルを「ON」にしてください。感電、火災のおそれがあります。

3) 月に1回程度テストボタンを押して動作確認を行ってください。漏電遮断器が「OFF」にならない場合は故障です。電気工事店へ連絡してください。

4) 保守・点検は、専門知識を有する人が上位遮断器を「OFF」し、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。

2. 施工上の注意

注意

- 1) 電気工事は、有資格者（電気工士）が行ってください。
- 2) 配線作業は、上位遮断器を「OFF」し、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。
- 3) 単相3線式専用の機種は、中性線を必ず中性相に接続してください。又、中性線欠相検出用リード線は負荷側の中性極に確実に締め付けてください。過電流又は中性線欠相で動作せずに火災の原因となります。
- 4) 本体の定格にあった電源に接続してください。不動作及び故障の原因となります。
- 5) 中性極の端子ねじが2本ある製品は、ねじを交互に締め付けてください。ねじが緩み、火災のおそれがあります。
- 6) 高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に設置しないでください。感電、火災、動作しないおそれがあります。
- 7) ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物及び雨水等が遮断器内部に入らないように施工してください。火災、動作しないおそれがあります。
- 8) 電線接続の際、端子ねじを確実に締め付けてください。火災の原因になります。

標準締め付けトルク一覧表

ね じ 径	ソルダレス端子	M5	M6	M8	M8 (六角穴付)	M12
締め付けトルク N・m (kgf・cm)	1.5~2.5 (15~25)	2.5~3.5 (25~35)	4~5 (40~50)	5.5~7.5 (55~75)	8~13 (80~130)	40~50 (400~500)

- 9) 電線は、電源側・負荷側の指示通りに接続してください。
- 10) 取り付け工事終了後、電源側及び負荷側端子間の電圧確認とテストボタンによる動作の確認をしてください。
- 11) モータブレーカ及びモータ保護兼用ブレーカをモータ回路に使用する場合は、モータの全負荷電流に適合したブレーカを選定してください。

3. 動作

- 1) 漏電や過電流・短絡事故が発生した場合、自動的にトリップし電路を遮断します。又単相3線式専用の機種では電路の中性線の欠相により過電圧（135V以上）が発生した場合、0.5秒以内に電路を遮断します。漏電又は過電圧で動作した場合のみ白（又は黄）ボタンが突出します。
- 2) トリップした場合の動作表示
ハンドルが「OFF」の位置に止まるタイプと、「ON」と「OFF」の中間で止まるタイプがあります。中間で止まるタイプは、一度「OFF」側に戻してから再投入してください。

施工年月日

施工業者名

TEL.

NITO 日東工業株式会社
 愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地
 TEL. 長久手 (0561) 62-3111

＜再生紙を使用しています＞